

白杵市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	福祉課	大戸 敏雄	1500

コード	I-4-9	施策名	生活の安定と自立への支援
施策の方針	自分らしい笑顔輝く人生の自立を支える		
まちづくりの方針	生活の土台を築き、笑顔あふれる市民が暮らすまち(健康福祉)		
5年後のめざす姿	さまざまな要因で生活困窮に陥り、地域での生活が困難になった人が、自身の力で自立した生活を送れる支援体制の充実を図ります。生活保護受給者の自立をめざします。認知症や知的障がい・精神障がいなどの理由で、財産の管理や日常生活等に支障のある人に対し、成年後見制度を活用し権利擁護を図ります。		
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者が自立した生活を送れるように就労支援などを行います。 生活困窮者や引きこもりの対策として、自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業、障がい者自立支援事業等の各種事業に取り組みます。社会福祉協議会と連携して、日常生活自立支援事業の普及にも努めて、市民が自立した生活を送れる支援体制の充実を図ります。 白杵市市民後見センターを中心として、認知症や知的障がい、その他の精神上的障がいがあることにより、財産管理や日常生活等に支障がある人たちを支えるための施策を強化します。 		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
生活保護受給者への就労支援者数	1年間に就労支援を行った生活保護受給者数(継続含む)	目標	人	20	21	22	23	24		
			実績	19	21.0					
			達成率		105.0%					
生活困窮者自立支援ケース数	生活困窮者自立支援ケースとして認定し支援プランを作成した人数	目標	人	32	35	38	41	44		
			実績	29	30.0					
			達成率		93.8%					
白杵市市民後見センター受任者数【累計】	白杵市市民後見センターが受任した人数	目標	人	40	42	44	46	48		
			実績	39	48					
			達成率		120.0%					
		目標								
			実績							
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
		目標								
			実績							
			達成率							
指標の分析										
			実績							
			達成率							
指標の分析			就労が可能な年齢の生活保護受給者への積極的な就労支援の取り組みや、生活困窮者世帯の増加による支援プラン作成件数の増加、市民の認知度増加による白杵市市民後見センター受任件数の増加が見込まれるため、全ての指標が増加する想定で目標を定めています。							

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果(R2調査)	強化領域	2.58	1.96
市民意識調査結果分析	令和2年度実施のアンケート結果では、「必要度」が高く、「満足度」は低い「強化領域」に位置しており、取り組みの強化が求められています。		

<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題	生活困窮者自立支援事業については、様々な事情により、まだ支援の手が届いていない方が潜在的に多くいることが予想される中、各地域事情に精通した区長や民生委員児童委員、地区福祉委員等との連携を更に深め、徹底して地域の中への支援に繋がっていきます。市民後見センター事業に関しては、昨年度「中核機関」の設置となり、更に広く市民に「後見センター事業」が認知されるよう周知に努め、必要な方への支援に繋がっていくことが重要です。
------------	--

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R1年度実績	R2年度実績	R3年度見込み			
1	生活困窮者自立支援事業	福祉課		23,425	27,648	28,487	重点継続		
2	市民後見センター委託料	福祉課		21,291	21,215	21,215	重点継続		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計				44,716	48,863	49,702			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	市民後見センター事業については、先進的な取り組みを行っているため、更に広く市民に周知していくとともに、支援に繋げるきっかけとなる金融機関や高齢者施設等への周知し、少しでも早い段階で支援に繋がる取り組みとなるよう推進していきます。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

内部評価	重点施策であり、計画終了(2024年)までに強化する
	令和2年度においても、取り組みを強化して実施しているが、継続した内容が主であったため、重点施策として実施しているものと評価。

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
生活困窮を含め、何かあった時に市に連絡してもらえるような見守りが必要だが、見守りの仕方は、本人や家族の状況等により大きく異なる。学校でも貧困家庭の問題はあるが、見えにくい。生活の安定と自立の支援は各家庭の状況で大きく異なり、支援に入りにくい部分もあるが、安心して暮らせる白杵市づくりを目指してほしい。	強化

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

引きこもりも生活困窮の一つの形で、潜在的に存在していると認識している。生活困窮からの立ち直りに向けた支援には多くの時間を要するので、地域の実情に詳しい区長、民生委員さんとの連携を強化し、可能な限り早い時期に情報を収集して、早期の支援につなげたい。